

令和4年度 研究概要

<p>所属名</p> <p>カリキュラムセンター</p>	<p>研究会議名</p> <p>国語科研究会議</p>
<p>研究主題</p>	<p>主体的に読み深め、自らの考えをつくり出す子の育成 ～学びのPDCAサイクルの循環による一人一人の読みのよさが生きる単元デザイン～</p>
<p>育成を目指す 資質・能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向かって教材・自己・他者との対話を繰り返し、考えを形成していく力 ・PDCAサイクルを自ら回し、学びを調整していく力
<p>研究内容</p>	<p>次世代を切り拓く子どもたちに求められる資質・能力として、文章の意味を正確に理解する読解力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や納得解を生み出す力などが挙げられる中、本研究会議では、令和3年度全国学力・学習状況調査結果の本市の課題となった文学的文章を読むことの育成に焦点をあてる。子どもたちが将来、自分で文章を正しく読んだり、読むことを楽しんだりする自立した読み手となるために、他者とともに作品を読み深め、自己の考えをつくり出していくことができる単元デザインを検討していく。</p> <p>単元をデザインするにあたり、本研究会議では、「学びのPDCAサイクル」を研究の視点とする。資質・能力の育成を目指す「単元全体のPDCAサイクル」と探究的に読み深めていくための、いくつかの「小さなまとまりでのPDCAサイクル」を組み合わせることによって、学び方を学びながら単元で目指す資質・能力を身に付けることができると考えている。</p> <p>「単元全体のPDCAサイクル」では、Plan：単元で目指す資質・能力や学習課題を見通す。Do：学習課題の解決に向けて読む。Check：友達と考えを共有する。Action：学習課題に対する自分の考えをまとめ、どうしてその考えにたどり着いたかを振り返ることで、どんな資質・能力が身に付いたかを自覚する。</p> <p>「小さなまとまりでのPDCAサイクル」では、Plan：これまでに学んだ言葉の見方・考え方を振り返り、課題解決に向けてどう読むとよいかを見通す。Do：知識・技能を活用しながら自力で読んで解釈し、自分の考えをもつ（一人読み）。Check：他者との対話によって、多様な読み方や考えに触れ、自分と他者を比較する（共有）。Action：自分の作品に対する解釈や自分の考えを振り返ったり、他者から得た視点をもとに再読し、作品を捉え直したりする（一人読み）。</p> <p>この「学びのPDCAサイクル」を回す経験を積むことが、子ども自ら読み深め、新たな読みや自分の納得解を生み出すことにつながる。さらに、このサイクルにおいて、教師が子ども一人一人の読みのよさを見取り、適切に価値付けることによって、一人一人が自立して読み深めたり、共有の場で多様な考えを伝え合ったりすることができると考えている。自立した読み手を促す教師の支援の在り方も探っていく。</p> <p>単元の中で、どのように「学びのPDCAサイクル」を位置付けると、子ども一人一人が読み深め、他者と異なる自分の考えをつくり出していくことができるかを着目児童の読みの変容を追いながら検証し、その成果と課題を明らかにする。</p>